



PHPQUERY

IBM i (AS/400) オールインワンのデータ活用・自動化ツール



多くのIBM iユーザーが抱えている、
このようなデータ活用の課題を解決します！

Query for i で 運用する課題

- エンドユーザーに展開しにくい
- 似たような定義が大量にある
- Excelファイルをメール添付
- カラムヘディングが英語表記
- 見られたくないデータが見える

クライアント型 アプリの課題

- PC端末の配布・移行の手間
- OSバージョン依存問題
- Officeバージョン依存問題
- 32・64ビット端末対応問題
- タブレット未対応

IBM i 以外に 別途サーバーが必要

- 機器保守や運用コストが増加
- リアルタイムに見られない
- トラブル時の切り分けが困難
- 別途ソフトウェアのライセンス
- 負荷の高いクエリーで停止

IBM i 上で稼働するが 導入の敷居が高い

- WASが必要
- 初期導入・設定が複雑で高価
- 挙動が重く、レスポンス悪い
- 操作性が悪く、定着しない

ユーザー数・コア数 膨らむライセンス料金

- コア・ユーザー数の料金体系
- 将来的な全社展開を考えると
導入に踏み切れない

PHPQUERYを導入すると・・・

エミュレータ不要
セキュアに簡単公開

ユーザも管理者も
ブラウザのみでOK

今ある既存のIBM i
環境だけで稼働

導入・操作ラクラク
レスポンスも軽快

ユーザー無制限の
サーバーライセンス

PHPQUERYの特徴



IBM i 1区画で すべて完結

IBM i上で稼働、WindowsやSQLServer等の追加投資は一切発生しません



基本機能は ずっと無料

クエリーの作成、クエリーの編集、社内公開が無料で利用できます



ユーザー数 無制限

将来的な全社展開にも安心のユーザー無制限で月額定額料金、手軽に始められます



自動化や外部連携を 簡単に実現

RPGやCLとの連携、スケジュール機能で、自動化・外部連携を実現



Db2 for iに最適化した 独自の高速抽出エンジン

IBM iを知り尽くした開発会社が100%自社開発した独自の高速抽出エンジンを搭載



常に最新の リアルタイムデータを抽出

IBM iのDBに直にアクセス、常に最新のデータをリアルタイムに抽出



操作ログ・アクセス制限など 内部不正への抑止力

操作ログや権限管理により、セキュリティポリシーを遵守し、内部不正を未然に防ぎます



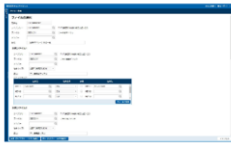
参照機能だけでなく 更新機能にも対応

CSVファイルをアップロードすることで、データ更新が可能です

ご利用のイメージ

Step 1

抽出したい データを定義



Query for iライクな定義作成が可能
SQLや他ツールからの取込にも対応

対象ファイル(DB)、
表示項目、条件を選択



IBM i (AS/400)
データベース

Step 2

定義に従い データを抽出・表示



ヒョットテーブルに近いクロス集計
制御レベルに近いグループ集計にも対応



様々なグラフ形式を提供
ダッシュボードで一覧表示も可能

Step 3

業務に合わせて 展開・自動化



- Excel・CSV
- メール配信
- 外部システム連携
- スケジュール実行
- RPG CL COBOL バッチ組込

稼働環境

IBM i	7.1 / 7.2 / 7.3 / 7.4		
必須ライセンス プログラム	Portable App Solutions Environment	33	5770SS1
	Qshell	30	5770SS1
	IBM HTTP Server for i5/OS	*BASE	5770DG1
	IBM Portable Utilities For i5/OS	*BASE	5733SC1
Webサーバー	Zend Server for IBM i Version 7.0 以降		
	PHP 5.4 / 5.5 / 5.6 / 7.0 / 7.1 / 7.2		
クライアント	ブラウザ (IE11・Microsoft Edge・Chrome)		

・稼働環境を満たしていない場合、満たすためのご支援をさせていただきます。

ご利用までの流れ

無料トライアル 30日間

準備・確認する

- ・ご懸念点の解消
- ・貴社環境の確認
- ・SAVFアップロード

導入する

1. オンサイト導入
2. リモート導入
TeamViewer 又は VPN
3. お客様ご自身で導入

試してみる

- ・操作説明会
- ・ご試用状況に合わせた
フォローアップ

ご利用
開始

ご満足いただければ、そのままフリー版でご利用頂くか
削除することが可能。ここまで費用は一切かかりません。

開発元

販売特約店（本製品に関するお問い合わせ先）



株式会社オムニサイエンス

<https://www.omni-s.co.jp/>